

高知大学医学部

令和2年7月

高知大学進学担当者説明会

理念：「敬天愛人」と「真理の探求」

自然の摂理を敬い、常に謙虚であり、
何よりも個々の人間を大切にする大学
人を目指しつつ、人間とその病態の中
に真理を見出す。

医学科の紹介

- 高齡化先進県の高知県では、10年後にどの地域でも安心して医療が受けられ、いざという時の緊急医療体制も整備されている姿を目指す「日本一の健康長寿県」構想を策定し、その実現化に取り組んでいます。
- 医学科では、本構想の主役となる明るく元気な若手医師の育成を行っています。
- 卒業生は、高知県をはじめ全国で臨床医および医学研究者として活躍しています。

医学科の学び 6年間の流れ

医学科の学び 6年間の流れ

地域医療を理解するために、全学年において様々な科目が用意されています(EME 初期臨床医学体験、大学基礎論、基礎社会医学、臨床体験実習、地域医療学、保健医療制度、社会医学演習、臨床実習など)。

また、2～4年生の間はTBLなどのグループ学習が先端医療学推進センターでの研究体験のいずれかを選択します。



初めての白衣に感動。現場での体験が学習意欲に!

1年生 EME 初期臨床医学体験

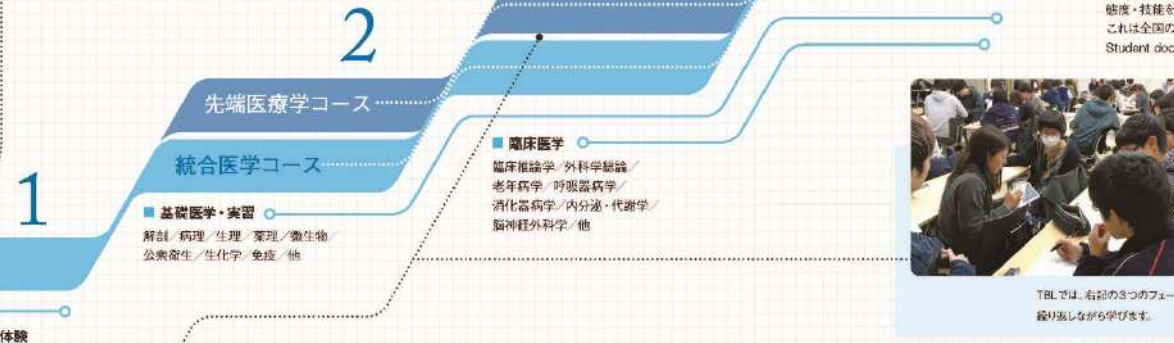
入学直後の早い段階から医療・介護・福祉の現場を体験することで、自分の将来像を描き、医学生として必要な心構えや態度を身につけることを目的とした実習です。附属病院での「外来つきそい実習」をはじめ、看護部、検査部、リハビリテーション部、薬剤部、医療管理部に入ってコメディカルスタッフの業務を知る「附属病院実習」、市内の診療所での「プライマリ・ケア実習」、高齢者・障がい児者の施設を訪問する「施設実習」などを体験します。



「専門科目の満足度」(1年生アンケートより)
2019年度 ★★★★★ 10.0 満点中 7.0
2018年度 ★★★★★ 10.0 満点中 7.5

※「IR」についてはP.30をご覧ください

EMEは毎年8割以上の人が「よかった」「モチベーションが上がった」と回答。1年生の専門科目の中ではトップ1位の評価です!



医学研究を通して、課題探求能力を高める

2～4年生 先端医療学コース

独自性とリサーチマインドを持った医師・医学者の育成を目指し、最先端医療研究を通して、医学研究に必要な基礎学力と課題探求能力を涵養します。学生は、医学部附属先端医療学推進センター(市内の附属病院/6部門/24チーム)のいずれかに所属して研究体験を行います。



診療チームの一員として、臨床現場で学ぶ

5～6年生 臨床実習

臨床実習の中でも、診療参加型実習(クリニカル・クラークシップ)では、学生が診療チームの一員として患者さんの診療に参画します。医療面接や治療計画の策定、カルテへの記載、医療スタッフへの連絡といった実際の診療に関わることで、医師としての思考法や診療技能だけでなく、患者さんの社会・心理的背景に注意を払うことなど、将来「病気だけでなく人を診ることのできる医師」になるために必要な態度・習慣を身につけていきます。

医師国家試験

6

卒業試験

臨床実習後 OSCE

臨床実習が終了し、卒業するために必要な臨床能力が身についているかどうかを、臨床例を模した課題で評価します。知識を評価する卒業試験とともに、卒業要件の一つとなっています。

臨床実習開始前の共用試験 CBT・OSCE

臨床実習に進むための知識を評価する CBT(コンピュータ試験)と態度・技能を評価する OSCE(客観的臨床能力試験)を行います。これは全国の医学部で共用して用いられる試験で、合格すると Student doctor の称号が与えられます。



チーム基盤型学習を通じて、能動的学びを身につける

2～4年生 統合医学コース

医師として顧客の診療を行うためには、常に最新の医学知識や情報を自ら学び、集めることが必要です。そこで、本コースではチーム基盤型学習(TBL: Team-Based Learning)を取り入れ、様々なテーマに対して個人の責任性を持ちながらチームで協働して課題解決を目指す中で、必要な知識、態度、技能を習得していきます。TBLは米国発祥の学習法で、本学が日本で初めて導入しました。知識を応用する能動的な学習を重視しています。

TBLでは、右図の3つのフェーズを繰り返しながら学びます。

① 予習
(個人学習)

② 準備段階
(多肢選択教テスト)

③ 学習テーマの応用
(グループ討議、全体討議)



「アクティブラーニングの満足度」(卒業予定者アンケートより)

2019年度 ★★★★★ 10.0 満点中 7.3
2018年度 ★★★★★ 10.0 満点中 7.2
2017年度 ★★★★★ 10.0 満点中 6.9

統合医学コースの発表内で行われるアクティブラーニング(教員による一方的な講義ではなく学生が能動的に参加する授業)は、年々満足度が向上しています。

医学科 学びを支えるポイント

教養科目・基礎医学・臨床医学と学習を積み上げていきます。
卒業時には医療の現場で活躍できる十分な能力を持ったレベルに到達できるようにカリキュラムが組まれています。

学びの特色

- 地域医療学の充実

- 6年間を通じて実際の地域医療に触れる様々なカリキュラムが用意されています。人間性に溢れる豊かな医療人を育てます。

- 医学研究者の早期育成

- 先端医療学推進センターを設立。研究・教育・診療を有機的に連動させ、医学研究者の育成に力を入れます。

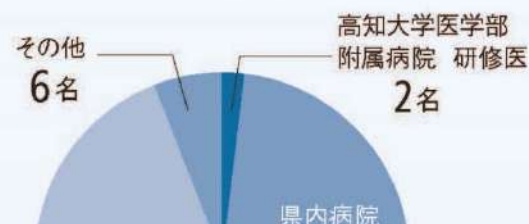
- TBL/PBL学修の導入

- 自ら学び、問題を解決する能力を身に付けるため、少人数のグループ学修TBL (Team-Based Learning) /PBL (Problem-Based Learning) を導入しています。

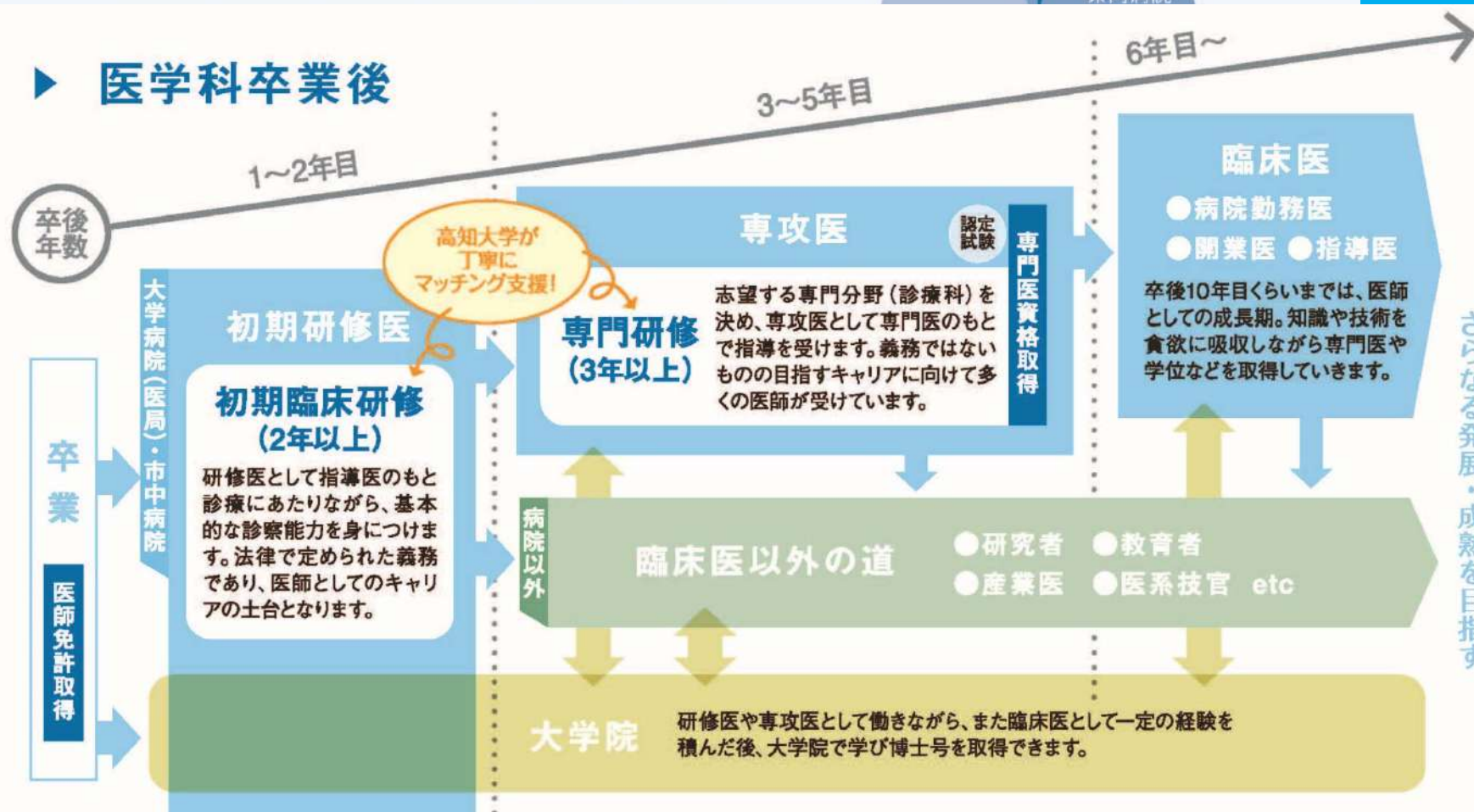
医師国家試験合格状況 (新卒者)

	平成27年 (109回)	平成28年 (110回)	平成29年 (111回)	平成30年 (112回)	平成31年 (113回)	令和2年 (114回)
受験者	100名	109名	114名	104名	112名	101名
合格者	94名	102名	107名	99名	105名	96名
合格率	94.0%	93.6%	93.9%	95.2%	93.8%	95.0%

令和2年3月卒業者進路状況



医学科卒業後



卒業後の進路

看護学科の紹介

- 看護学科は平成10年に旧高知医科大学に設置され、旧高知大学との統合の後、現在の高知大学医学部看護学科に至っています。
- 看護学科では4年間の教育課程の中で、豊かな人間性と高い倫理観を身に付け、看護専門職と技術を習得し、臨床現場や地域住民の生活の場に触れて看護実践能力を培っていきます。
- 病んだ人を優しくケアできる看護師、人々の健康生活向上の援助ができる保健師、生徒の健康増進に寄与できる養護教諭、独創的な看護学研究者などの養成を目指しています。

看護学科科の学び 4年間の流れ

看護の基礎技術と専門技術を学ぶ。2年生からは看護の専門知識・技術を学ぶ授業が主体となります。特に、3年生の1学期終わりからは附属病院や地域の施設で看護援助技術を学ぶ実習が配置されており、実践能力を養います。4年生で総合的な授業として、看護研究を行う卒業研究と3年生までに修得した看護の実践技術を総合的に学ぶ統合看護実習があります。



実践の中で主体的に考えながら、看護を学ぶ

1年生 生活援助技術論Ⅱ

健康を脅がれた人々の健康回復に向けた基本となる治療援助技術を学ぶ科目です。薬物療法の単位では、薬物療法の意義を理解し、安全な与薬方法の実践として、経口与薬法や直腸内与薬法、点滴法の演習を行います。演習では確実な手技と十分な説明、さらに体位の工夫など効果的な方法を事例に基づいて展開し、看護師の役割と責任について考えます。



コース選択

※保健師育成コース、実習教諭育成コースを選択するためには3年生までに関連科目の修得が必要です。

3 ●臨床での実践能力開発 ●専門技術の学習

2 ●専門知識の習得 ●専門技術の習得

■専門科目
成人／小児／母性／高齢者／精神／在宅看護概論／他

1 ●看護学の基礎学習 ●人間力の育成

■救済科目
■初年次科目

ロールプレイングなどを通じて、より専門的な気づきを得る

医療安全論Ⅰ

4

●なりたい将来像に応じて、コースを選択

4年生では、自分の将来に向けて、より専門性を高める3つのコースが準備されています。

看護師実践力育成コース

実践力の高い看護師を育成するコース。

講義・演習（看護実践に必要な理論や技術習得）→多様な実習場所での看護実践（附属病院や地域）→講義・演習（実習後の学びの統合）のサイクルで学んでいます。



保健師育成コース

※人数制限があります。

地域住民の健康と生活を助ける保健師を育成するコース。

全国に先行して少子高齢化が進む高知県の総務を過ごし、市町村の保健福祉の現場に入って実際にそこで暮らす人々と関わりながら、実践的に学んでいます。



教諭育成コース（養護教諭）

看護師資格を持つ養護教諭を育成するコース。教科科目のほか、養護教諭の科目を学んでいます。また、学校現場に出て養護実習に取り組み、知識・技能と実践を統合させます。

看護師国家試験
保健師国家試験
教諭免許状取得



※看護師国家試験受験資格は全員が取得できます。

■卒業研究
■統合看護実習

半年間かけて、様々な領域の看護を体験する

3年生 臨地実習

開療する附属病院で約6ヶ月間、「成人」「高齢者」「精神」「小児」「母性」の各領域をまわり、授業で得た知識を体験しながら学びにつなげる実習を行います。卒業生の先輩看護師がたくさんいる環境の中、学生も医療チームの一員として温かく迎えられ、スタッフの方と一緒に、患者さんやご家族のことを考えながら看護を学んでいくことができます。病棟での実習を通して得た気づきや学びは、4年生でさらに、卒業研究やコース別実習で深めていきます。



4年間を通して看護専門職としての基礎的能力の育成を重視
1年生ではグループで協力して課題に取り組む授業を多く配置
2・3年生では、看護の専門知識・技術を学ぶ授業が主体
4年生では、卒業研究と実践技術を総合的に学ぶ統合看護実習

学びの特色

- 施設との連携体制
- 高知大学は県内広域の多数の施設と連携体制にあります。地域看護学実習では、その地域に宿泊し技術と人間的な成長も望めます。
- 専門育成コース
- 看護師実践力育成コース、保健師育成コース、養護教諭育成コースの中から、目的に応じたコースを選択できます。

看護学科 進路データ

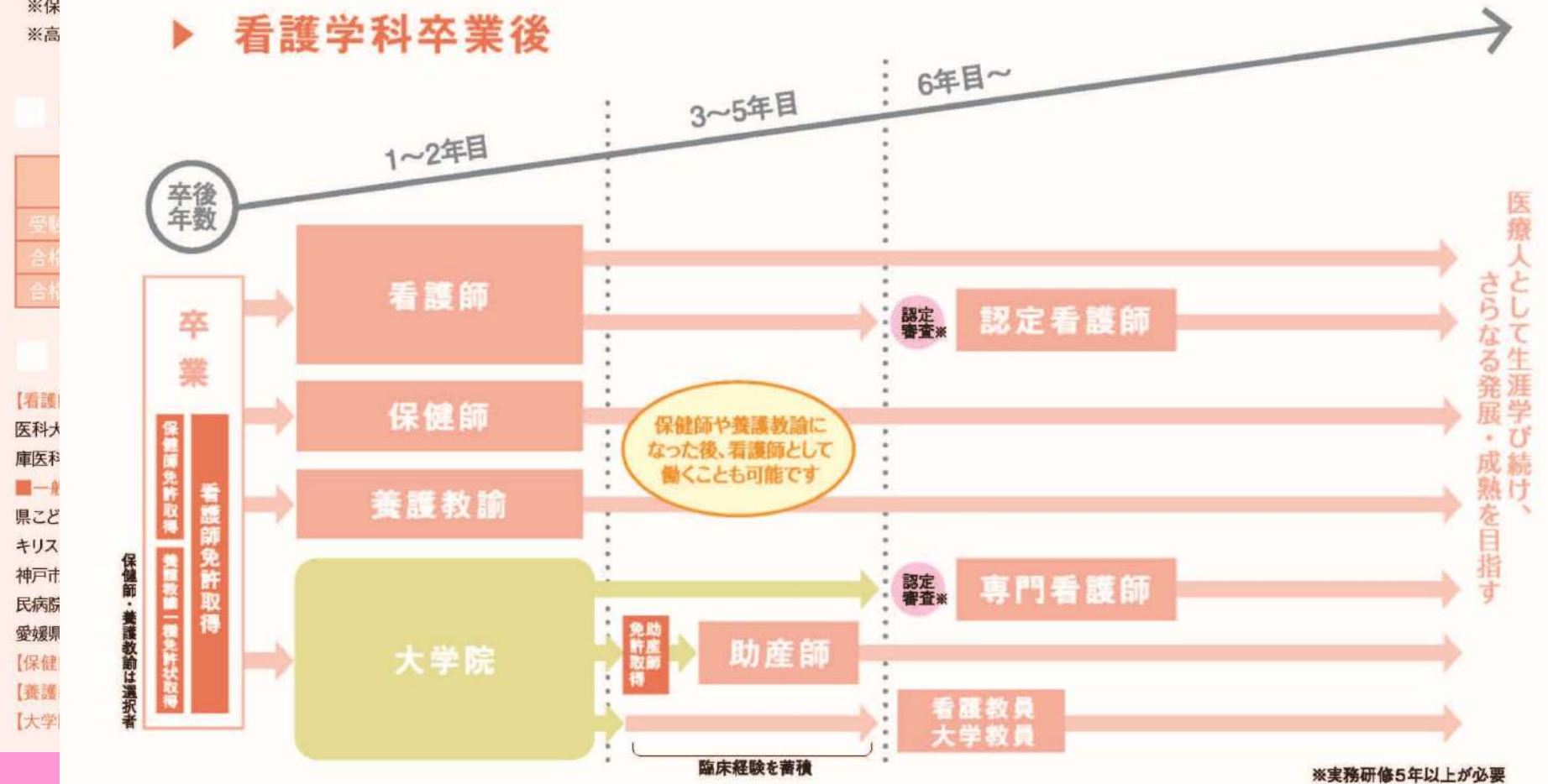
卒業が認定されると、「看護師国家試験受験資格」が得られます。

また、所定科目単位の修得により「保健師国家試験受験資格」、または「養護教諭第一種免許状」の資格を得ることができます。

※保健師国家試験に合格した者は、本人の申請により「第一種衛生管理者免許状」が取得できます。

※保
※高

▶ 看護学科卒業後



卒業後の進路

医学科のアドミッションポリシー

【養成する人物像】

「良識のある社会人として行動する力」, 「コミュニケーション力」,
「医学に関する幅広い知識と技能」, 「地域の医療へ貢献する力」,
「自ら真理の探求に取り組む力」を有する人材を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

○ 知識・技能

1. 医学知識を修得するために必要となる幅広い分野の基礎知識として, 高等学校卒業程度の教科学習に関する知識があり理解している。

○ 思考力・判断力・表現力

1. 学習及び生活の中で自ら積極的に問題点をみつけ、解決策を提案することができる。
2. 科学的根拠に基づき、批判的に考えることができる。
3. 自分の考えを用いて筋道を立てて明確に表現することができる。

○ 主体性・多様性・協働性

1. 自発的で継続的な自己学習の習慣を身につけている。
2. 協調性や他者への深い思いやりがあり, 周囲と良好なコミュニケーションをとることができる。
3. 多様な背景を持つ他者の能力を認め, 同じ目標に向かって協働することができる。

**重視する能力は
選抜種別によって異なります！
詳しくは募集要項を御覧ください**

強い関心・意欲を持つ

強い意欲がある。(一
抜Ⅱ, 総合型選抜Ⅰ)

3. 社会的な善悪に対して正しく判断し, 自分の発言や行動に責任を持つことができる。

医学科の入試

5教科7科目とは
国Ⅰ、英Ⅰ、数Ⅱ、理Ⅱ、社Ⅰ

地域枠学生は高知県医師
養成奨学金を6年間受給

総合Ⅰ

- ・ 30名
- ・ 評定4.3以上
- ・ 高卒1年以内
- ・ 地域指定なし
- ・ 高知県内で2年間の初期臨床研修を確約
- ・ 1次選抜(→60):
 - ・ 小論、総合問題
 - ・ 出願書類
- ・ 2次選抜(→30):
 - ・ 態度・習慣領域評価
 - ・ 面接

学校推薦Ⅱ

四国瀬戸内地域枠

- ・ 20名
- ・ 評定4.3以上
- ・ 高卒1年以内
- ・ 四国・瀬戸内地域枠
- ・ 共通テスト:
 - ・ 5教科(7科目)
- ・ 面接、志望理由書
- ・ 高知県医師養成奨学金を6年間受給

前期

- ・ 60名(地域枠5)
- ・ 評定条件無し
- ・ 年齢制限無し
- ・ 地域指定なし
- ・ 共通テスト:
 - ・ 5教科(7科目)
- ・ 個別試験、面接
- ・ 定員の4倍を目処に足切りする場合

【養成する人物像】

「教養と専門知識を基盤に、人々のところに寄り添う感性と高い社会正義感を持って、看護実践能力を用いて、人々の健康と生活を支えることができる看護専門職」を養成します。

同時に、「社会に生じてくるさまざまな問題を看護の視点でとらえ、多職種と協働しながら課題の解決に向かうよう自ら学びつづけ、よりよい医療・看護を実現できる革新力を備えた人材」の養成を目指します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

○ 知識・技能

1. 看護学・医学を学ぶために必要な高等学校卒業程度の知識があり、特に理科・社会・英語の基礎学力を有する。

○ 思考力・判断力・表現力

1. 筋道を立てて物事を考え、的確な判断ができる。
2. 自分の考えや思いをわかりやすく伝えることができる。

○ 主体性・多様な価値観の理解力

1. 他の人と協働して課題を解決する力がある。
2. 自ら学び、自ら考え、主体的に行動し、意欲的に取り組むことができる。
3. 相手の立場から物事を考えることができる。

○ 関心・意欲

1. 人と触れ合うことが好きであり、人々の健康と生活を支える専門職を目指す意欲がある。

看護学科の
アドミッション
ポリシー

**重視する能力は
選抜種別によって異なります！
詳しくは募集要項を御覧ください**

看護学科の入試

5教科5科目とは
国Ⅰ、英Ⅰ、数Ⅰ、理Ⅰor2、社Ⅰ

学校推薦Ⅰ

- ・ 27名
- ・ 評定3.8以上
- ・ 新卒のみ
- ・ 1校3人まで
- ・ 共通テストなし
- ・ 総合問題(100)
- ・ 面接(25)、調査書、推薦書、志願理由書

前期

- ・ 27名
- ・ 評定条件無し
- ・ 年生制限無し
- ・ 共通テスト:
 - ・ 5教科(5 or 6科目)
- ・ グループ面接
- ・ 面接

後期

- ・ 6名
- ・ 評定条件無し
- ・ 年生制限無し
- ・ 共通テスト:
 - ・ 5教科(5 or 6科目)
- ・ 面接

□ 学部理念、各学科のアドミッションポリシー、選抜種別の違いをよく理解したうえで受験してください。

□ 皆さんと一緒に医学を学ぶことを楽しみにしています。